

エコアクション21 環境経営レポート

2022年4月～2023年3月



株式会社 **ダイシン機工**



発行日:2022年6月27日
改訂日:2023年10月6日



目 次

環境経営方針	P.3
--------	-----

組織の概要・対象範囲・E A 2 1 推進組織図	P.4
--------------------------	-----

環境経営目標・環境経営計画	P.5
---------------	-----

環境経営目標の実績	P.6
-----------	-----

環境経営計画の取組結果とその評価	
------------------	--

環境経営計画の次年度取組内容	P.7
----------------	-----

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果	
-----------------------	--

代表者による全体評価と見直し・指示の結果	P.8
----------------------	-----

社内取組の紹介	P.9
---------	-----

環境経営方針



持続可能な社会を実現するため 技術力で今ある
商品・サービスにプラスαの価値を創造する
創造業カンパニーを目指します。

【基本方針】

株式会社ダイシン機工は、企業活動の主体である機械加工にプラスαの
価値を創造し、多様化する環境課題の解決に貢献します。また、社員一人ひとりが
環境保全の意識を高く持ち持続可能な社会を実現するために積極的に行動します。

【活動方針】

- ① エコアクション21に基づき環境経営システムを運用し、継続的改善を推進します。
- ② 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- ③ 具体的に次のことに取り組みます。
 - 1) 電気・燃料等のエネルギー使用量を低減します。
 - 2) 廃棄物の排出量を削減し、分別を徹底し再資源化を推進します。
 - 3) 水の使用量を低減します。
- ④ 環境に配慮した製造、販売に努めます。
- ⑤ この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。
- ⑥ 環境への取組みを環境経営レポートとして取りまとめて公表します。

制定日 2017年8月5日
更新日 2022年4月1日

株式会社 **ダイシン機工**

代表取締役社長 **岡田 大佑**



組織の概要・対象範囲

事業所及び代表者氏名

株式会社ダイシン機工

代表取締役社長

岡田 大佑

所在地

本社・工場

〒710-0024

岡山県倉敷市亀山726-5

環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者

岡田 大佑

環境管理担当者

総務部

濱岡 麻里香

TEL：086-428-8008

FAX：086-428-8011

E-MAIL：hamaoka.m@daishinkiko.co.jp

事業内容

金属加工製品の設計・開発及び製造

産業機械部品の製造

産業機械（治工具類）の輸入販売

医療機器の設計・開発及び製造

事業規模

創立	1986年5月
資本金	1000万
売上高	2億9591万円（2022年度実績）
従業員数	22名（内パート5人）
床面積	874.92㎡

事業年度

4月～翌年3月

対象範囲

株式会社ダイシン機工全組織

本社・工場

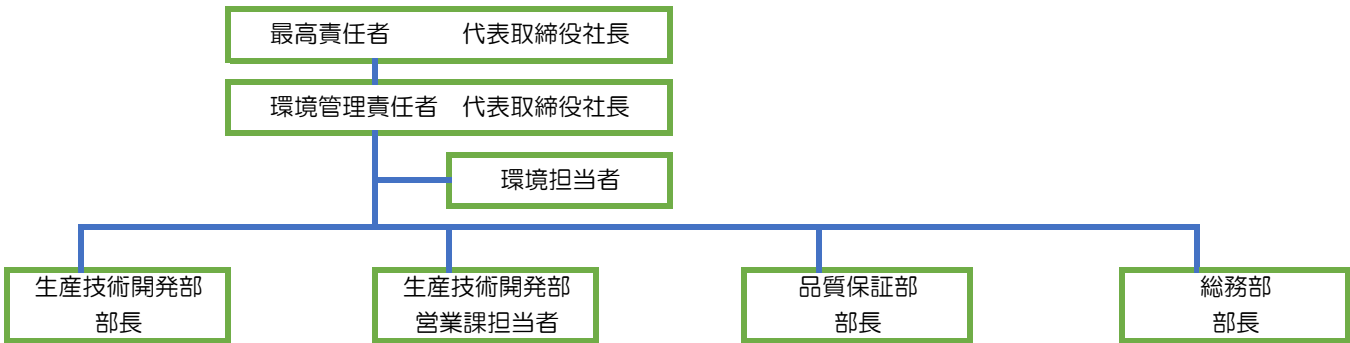
活動

事業内容の通り

環境経営レポートの対象期間

2022年4月1日～2023年3月31日

E A 2 1 推進組織図



役割・責任・権限

代表者兼環境管理責任者	- 環境経営に関する統括責任者 経営における課題とチャンスの明確化 - 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 - 環境経営目標、環境経営活動計画書の確認と承認 - 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 - 環境関連法規等と環境経営レポートの確認と承認
環境担当	- 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 推進事務局 - 環境関連書類の集計と作成 - 環境経営レポートの作成と更新 - 従業員に対する教育訓練の実施 - 環境上の緊急事態への準備及び対応
部門長	- 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門に関連する環境経営活動計画の実施 - 自部門の問題点の発見、是正
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境に配慮した取組みの重要性を自覚 - 自主的、積極的に環境活動へ参加

環境経営目標

2018年4月～2019年3月までの1年間の使用量・排出量の調査を行い、その数値を基準値として次年度以降の目標数値を設定し、以下に示す。

原単位の基本	年間売上（万円）	25,000
	年間水使用量は人数（人）	22

環境経営方針の項目	取組項目	目標種別	単位	年間の削減目標又は取組み頻度			
				（年度は4月～翌年3月）			
				2018年度	2021年度	2022年度	2023年度
				基準値	-3%	-4%	-5%
二酸化炭素の排出量削減	二酸化炭素の排出量の削減	総量	kg-CO2	113,984	110,564	109,424	108,284
		原単位	kg-CO2/万円	4.559	4.423	4.377	4.331
	電力の使用量の節減	総量	kWh	144,905	140,558	139,109	137,660
		原単位	kWh/万円	5.796	5.622	5.564	5.506
	ガソリン使用量の節減	総量	L	2,916	2,829	2,799	2,770
		原単位	L/万円	0.117	0.113	0.112	0.111
	軽油使用量の節減	総量	L	1,285	1,247	1,234	1,221
		原単位	L/万円	0.051	0.050	0.049	0.049
	灯油使用量の節減	総量	L	1,341	1,301	1,287	※ 1,334
		原単位	L/万円	0.054	0.052	0.051	0.053
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減（△1kg）	総量	kg	985	982	981	980
		原単位	kg/万円	0.039	0.039	0.039	0.039
	金属材料のロス	総量	kg	10,511	10,199	10,091	9,985
		原単位	kg/万円	0.420	0.408	0.404	0.399
水使用量の削減	水道使用量の削減	総量	m ³	184	178	177	175
		原単位	m ³ /人	8.364	8.091	8.045	7.955
環境への配慮	地域清掃（川掃除）	回数	年	2	2	2	2
	プラスαの価値を創造した新規商品開発	総量	—	継続的な改良・製造			

※電力の二酸化炭素の排出係数は中国電力の2016年度0.694kg-CO2/kWhを使用する。

※産業廃棄物の排出量削減の基準の数値は、2018年度に排出した総量にしている。

※化学物質（PRTR制度対象化学物質）の取扱い無し。

※2023年度灯油使用量の削減目標値は、2022年度に暖房機が1台増えた為 2022年度の実績-1%とする。

環境経営計画

環境経営目標に掲げた目標を達成するために、
各項目の主な取組み内容・確認方法を決め下記に示す

環境経営方針の項目	取組項目	具体的な取組み内容
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	不要照明の消灯と老朽化した電気のLED化
	電力の使用量の節電	エアコンフィルターの定期清掃の実施
	ガソリン使用量の節減	営業車の定期的な整備・点検とエアコンの適正な使用
	軽油使用量の節減	営業活動と納品日を集約しルートの効率化
	灯油使用量の節減	暖房時扉の解放禁止と適正温度の確認
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	バーバーレスの推進と文書のデータ化促進 コピー用紙の両面使用
	金属材料のロス	ボカミスの削減
		廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正処理の実施
水使用量の削減	水道使用量の削減	節水意識の向上・定期的な水漏れチェック
環境への配慮	地域清掃	地域の方とのコミュニケーションと社員同士のコミュニケーションをはかる
	プラスαの価値を創造した新規商品開発	リサイクル可能な部品を取り入れ継続的に新規商品開発を行い会社のPR活動にも力を入れる

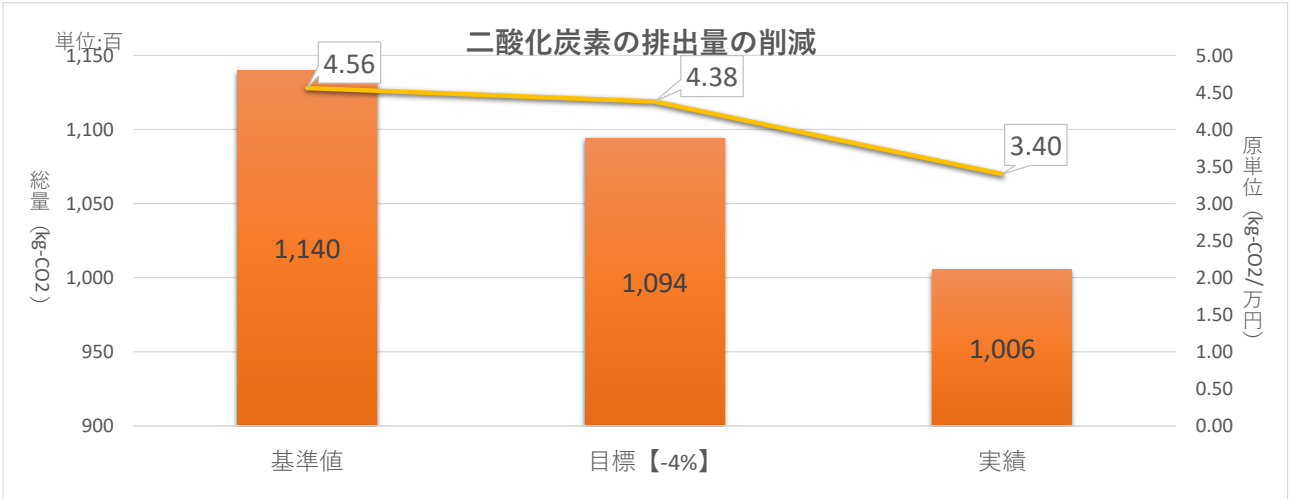
環境経営目標の実績

2022年4月～2023年3月までの1年間の使用量・排出量の調査を行い、基準値に対する増減率を以下に示す。

原単位の基本	基準年間売上（万円）	25,000
	年間水使用量は人数（人）	21
	2022年度売上（万円）	29,591
	年間水使用量は人数（人）	22

環境経営方針項目	取組項目	目標種別	単位	年間の削減目標又は取組み頻度			
				（年度は4月～翌年3月）			
				2018年度	2022年度		増減率（％）
				基準値	目標【-4%】	実績	
二酸化炭素の排出量削減	二酸化炭素の排出量の削減	総量	kg-CO2	113,984	109,424	100,578	-11.8
		原単位	kg-CO2/万円	4.56	4.38	3.40	-22.3
	電力の使用量の節減	総量	kWh	144,905	139,109	127,057	-12.3
		原単位	kWh/万円	5.80	5.56	4.29	-22.8
	ガソリン使用量の節減	総量	L	2,916	2,799	2,576	-11.7
		原単位	L/万円	0.12	0.11	0.09	-22.3
	軽油使用量の節減	総量	L	1,285	1,234	1,189	-7.5
		原単位	L/万円	0.05	0.05	0.04	-18.6
	灯油使用量の節減	総量	L	1,341	1,287	1,348	0.5
		原単位	L/万円	0.05	0.05	0.05	-11.5
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減（△1kg）	総量	kg	985	981	575	-41.6
		原単位	kg/万円	0.039	0.039	0.019	-50.5
	金属材料のロス	総量	kg	10,511	10,091	11,076	5.4
		原単位	kg/万円	0.420	0.404	0.374	-7.3
水使用量の削減	水道使用量の削減	総量	m ³	184	177	157	-14.7
		原単位	m ³ /人	8.762	8.429	7.136	-15.3
環境への配慮	地域清掃（川掃除）	回数	年	2	2	0	—
	プラスαの価値を創造した新規商品開発	総量	—	継続的な改良・製造			

※増減率＝（実績－基準値）／基準値×100
 ※電力の二酸化炭素の排出係数は中国電力の2016年度0.694kg-CO2/kWhを使用する。
 ※産業廃棄物の排出量削減の基準の数値は、2018年度に排出した総量にしている。
 ※化学物質（PRTR制度対象化学物質）の取扱い無し。



環境経営計画の取組結果とその評価

環境経営取組目標の基準値と実績値の比較を行い、結果・達成率及び評価を以下に示す。

取組項目	結果	評価
	原単位増減率	
二酸化炭素排出量の削減	○ -11.8	稼働率の向上による二酸化炭素排出量の増加とはならず日々の無駄削減ができています
電力使用量の節減	○ -12.3	コロナ対策で定期的な換気を必要としたがその他の節電をしっかりとすることが出来ました
ガソリン使用量の節減	○ -11.7	稼働率の向上により、配送日が多くなりました。使用が多くなる時こそ安全運転の呼びかけを行いました。
軽油使用量の節減	○ -7.5	稼働率の向上により、配送日が多くなりました。使用が多くなる時こそ安全運転の呼びかけを行いました。
灯油使用量の削減	× 0.5	コロナ禍で換気を定期的に行う為、使用量の増加となりました。
一般廃棄物の削減	○ -41.6	文書データの管理により、コピー用紙の使用を抑えることができました
金属材料ロス	× 5.4	稼働率の向上により、金属くずも増加となりましたが、ポカミスは削減することができました
水道使用量の削減	○ -14.7	定期的な節水の呼びかけにより、目標達成出来ました
地域清掃（川掃除）	○ —	コロナ禍で地域清掃に参加はできなかった
プラスαの価値を創造した新規商品開発	○ —	自社ブランドの周知として展示会に参加し、環境への取り組みも紹介できた

環境経営計画の次年度取組内容

目標を達成できているものは取り組みを継続して行い、達成できないものは取り組みを見直し改善に努める

環境経営方針の項目	取組み項目	具体的な取組み内容
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	不要照明の消灯と老朽化した電気のLED化
		エアコンフィルターの定期清掃の実施
	ガソリン使用量の節減	営業車の定期的な整備・点検とエアコンの適正な使用
	軽油使用量の節減	営業活動と納品日を集約しルートの効率化
廃棄物の削減	灯油使用量の節減	暖房使用時に適正温度の表示と温度湿度計の設置と 開閉注意の表示
	一般廃棄物の削減	ペーパーレスの推進と文書のデータ化促進 コピー用紙の両面利用
	金属材料ロス	切削量の削減の為材料、工程の見直しを行い適正な材料の選定 廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正処理の実施
水使用量の削減	水道使用量の削減	節水意識の向上・定期的な水漏れチェック
環境への配慮	地域清掃（川掃除）	次年度より、地域清掃（川清掃）へ積極的に参加する
	プラスαの価値を創造した新規商品開発	リサイクル可能な部品を取り入れ継続的に新規商品開発を行い会社のPR活動にも力を入れる

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果と違反訴訟などの有無を以下に示す

環境関連法規	遵守する項目	遵守評価	判定
廃棄物処理法	一般廃棄物収集業者の許可の確認、契約	委託契約書の締結	○
	産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約	委託契約書の締結	○
	マニフェストの交付、変換期日の管理、保存	マニフェスト	○
	産業廃棄物管理表交付等状況報告書の提出	報告書控え	○
	産業廃棄物置き場の掲示板設置	掲示板	○
	自社による運搬時の表示と書類管理	運搬表	○
浄化槽法	保守点検、清掃、水質定期検査の実施	検査記録	○
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者への引き出し	家電リサイクル券 (写し)	廃棄実績なし
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正な事業者への引き渡し	取引証明書	廃棄実績なし
フロン排出抑制法	廃棄時、修理時のフロン類登録事業者による適正処理	引取り証明書	廃棄実績なし
	フロン類使用機器の適正な管理と定期点検の実施	点検記録	○
消防法	消防計画の作成、避難訓練の実施	火災対応手順書	○
	消防設備の点検	点検記録	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価結果、遵守されていることを確認しました。

なお、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

過去3年間の法令違反・訴訟及び外部からの苦情はありませんでした。

代表者による全体評価と見直し・指示の結果

活動全体を通して以下の観点で評価を実施することより、現状の課題を明確にし来年度以降の活動に反映させる

活動全体の評価	
環境経営方針	2022年4月より新しくし、従業員に再度 周知の活動を行い普段の作業の中にも意識して行くよう指示をしました
環境経営目標及び環境経営計画	今回より評価の方法を売上原単位での評価とし、計画をし、より数値が明確となった
実施体制	実施体制を再構築し、活動がスムーズに行えるよう、理解と協力関係を深めていく
環境関連法の見直し・遵守状況	環境関連法規制等への違反はなく、最新の情報収集に努めます
外部からの環境に関する苦情や要望	外部からの異常・苦情はゼロを更新している

次年度以降の目標・取組・環境経営システムの見直しが必要か検討し、来期の活動に反映させる

次年度以降の活動等の見直し			代表者のコメント
環境経営方針の変更	あり	なし	今期は全社員の協力のもと目標を多く達成することが出来ました。特にソフト面では生産管理システムを構築し、導入することで、納期管理と生産管理を行い効率よく仕事を進めることが出来ました。残業時間削減に、電気使用量も削減出来ました。今度はハードの面で 省エネ設備の増設 補助金を使っての社内LED化を推進していきます。
環境経営目標の変更	あり	なし	
環境経営計画の変更	あり	なし	
環境経営システムの変更	あり	なし	
その他変更の必要な項目等	あり	なし	

見直し実施日：2023年4月28日 代表取締役社長 岡田大佑

社内取組の紹介

SDGsの推進に取組む『倉敷市・高梁川流域SDGsパートナー』へ登録

地域の清掃活動への参加など情報を共有し活動をしています。



SDGs社内研修会

社員の意識向上とSDGsをより知ってもらう活動の一環として
おかやまテクノロジー展2022へ参加するため社内で研修会を行いました
SDGsの17のテーマをモチーフにデザインして展示をしました。



オリジナル商品の開発・販売

自社製品のブランドを立ち上げ 商品化することができた
オクリヅルは、会社HPと店舗販売としてうさぎ屋で販売をスタート
することができました。

オクリヅル
～OKURIZURU～

Klassical
by DAISHIN-KIRO

オクリヅルは、手で折ることの出来る、ステータスの折り紙です。
つくる楽しさ、おくる喜び、もらう幸せ
想いをかたちに、手でつくるから伝わる想い

柄は3つから選べます
おススメ ① ②

好きな文字を書けます
おススメ ③ ④

世界に一つだけの、プレゼントを贈りませんか？

「健康」「成長」を意味する鶴の翼文様と長寿を意味する亀甲文様を合わせたオリジナルの吉祥文様です。子どもの成長や長寿を願ったり健康で長生きできるように、出産祝いや長寿の祝い、大切な人に贈るのに最適です。

鶴の翼甲文様 6,600円（税込）
亀甲文様 6,600円（税込）
「不老不死」「長寿長命」を意味する鶴の翼文様と長寿を意味する亀甲文様を合わせたオリジナルの吉祥文様です。柄は鶴の翼の縁を飾ることから、はじまりを意味し、長寿などを表します。結婚や出産などの祝いにも最適なアイテムです。

「学業・人徳・高家」を意味する鶴の翼文様と長寿を意味する亀甲文様を合わせたものを「四君子（しきんしん）」といいます。文字とは学識が高く人徳があり、清らかな成長を指す言葉です。出世や子供が成人、結婚などの祝いや個人に贈るのが最適です。

四君子文様 6,600円（税込）
ステンレス箔にもゴールド（真鍮）へ素材を変更することも可能です。耐変色処理は行いますが、変色することがあります。¥2,200円

セット内容 本製品1枚、練習用紙1枚 計2枚入り
サイズ 折り紙サイズ（15.0×15.0cm）
自分で折って渡したり、渡して相手に折ってもらったり、2人一緒に折ったり、折る時間も競争も贈る大切な思い出の時間になります。

